



SIX SENSES

シックスセンスズ

プラスチックフリーのためのプレイブックを公開

地球規模の課題をホスピタリティ産業全体で取り組むために 82 の実践可能な方法を共有



左より：サステナビリティ活動の成果を紹介する「アースラボ」／国連事務総長の諮問委員会にてゼロウェイスト・ベストプラクティスとして選ばれたシックスセンスズ ジギーベイ／2003 年よりガラスボトルで提供されているシックスセンスズの飲料水

2024 年 10 月

1995 年にインド洋で誕生したシックスセンスズは、自然派ラグジュアリーホテルとして離島リゾートや山岳リゾートを中心に展開し、環境保護の一環として「プラスチックフリー（プラスチック製品を使わないこと）」に取り組んできました。プラスチックの環境への悪影響が広く認識され始めた 2016 年頃には、使い捨てのペットボトル、ストロー、パッケージを使用しないオペレーションをすでに確立していました。

その後もその歩みを止めることなく、より複雑かつ代替が困難なプラスチック製品の削減に向けて取り組みを進めています。約 30 年にわたる取り組みは、サステナビリティチームにより記録され、ブランド内で共有されてきました。

今秋、シックスセンスズは、このノウハウをホスピタリティ産業全体に向けて公開することを発表しました。

シックスセンスズ ホテルズ リゾーツ スパの CEO、ニール・ジェイコブズは、「私たちにとってサステナビリティは、ラグジュアリーを定義するものです。より大きな規模で環境保護に取り組むためには、私たちのノウハウが詰まったプレイブックを他のホテルグループと共有することが必要だと考えました。記載されている内容は企業秘密と言えるかもしれませんが、私たちはそれでもかまいません。長年の経験から学んだことは、サステナビリティの取り組みが、必ずしもゲスト体験に負の影響を与えるわけではないということです。プレイブックは、実際の運営に反映されることが重要です。私たちの取り組みが産業全体に浸透し、すべてのホテル運営において欠かせないノウハウとして広がっていくことを期待しています。」と、コメントしています。

「**Six Senses Journey to Plastic Freedom Playbook**（プラスチックフリーを実現するためのシックスセンスズのプレイブック）」は、宿泊、管理、料飲、スパというホテル運営の主要 4 部門における、プラスチックフリーのための 82 のソリューションが記載されています。すべて試行錯誤を経て確立されたものであり、プラスチック袋から、歯磨きチューブ、コーヒーカプセル、ほうきに至るまで、様々なプラスチック製品を対象にしています。また、環境保護や社会的責任を果たすことが、ホスピタリティ、オペレーション、収益性、ゲスト体験、顧客満足度、従業員のエンゲージメントの向上につながることを、10 の実例で紹介しています。

IHG ホテルズ&リゾーツの「ラグジュアリー&ライフスタイル」の一員であるシックスセンスズは、世界中の IHG ホテル 6,400 軒に対し、**Six Senses Journey to Plastic Freedom Playbook** を公開しました。次のステップとして 2024 年 11 月 6 日（水）に、オンラインセミナーの開催を予定しています。ホスピタリティ産業に従事するすべての方を対象としており、セミナー開催後、ダウンロード可能なプレイブックが配布されます。

IHG

HOTELS & RESORTS



プレイブックの始まり

2016年にシックスセンスラームでプラスチックフリーの試験運用を成功させた後、シックスセンスグループ全体のプラスチック製品の使用状況を調べました。驚いたことに、何万ものプラスチック製品の使用を削減したにもかかわらず、その数は増え続けていました。この調査結果がきっかけとなり、スタッフの意識は向上し、普段の運営で使われているプラスチック製品をより細かく識別できるようになりました。

シックスセンス ホテルズ リゾーツ スパのサステナビリティ担当副社長、ジェフ・スミスは、「プラスチックを使用しないことは簡単なことではありませんが、取り組む価値は大きいです。私たちは、スタッフを対象に、6つの研修プログラムからなる教育・啓発キャンペーンを実施しました。それまで「見て」いなかったプラスチックに目を向け、大小を問わず、プラスチック製品として仕分けすることができました。しかし、品目を特定し、より良い代替品を研究することと、業務をより便利で効率的なものにしていた素材を使用しないようにオペレーションを変えることは、まったく別のことです。私たちは現在、82のソリューションを用意しています。シックスセンスのホテルでプラスチック製品が使われなくなるたびに、一歩ずつ前進するのです。」と、コメントしています。

ホテル運営における82のソリューション

全スタッフを対象としたキャンペーンが、世界中のシックスセンスでの熱意、創造性、イノベーションにつながり、プラスチックフリーを実現するためのソリューションが生み出されました。これらのソリューションは、全27軒のホテルのスタッフたちから提案されたものです。シックスセンス パロ ブータンのレストランマネージャー、ダワ・ツェリンは、ブータン初の天然ビーワックスラップの製造を指揮し、プラスチック製ラップの代替となりました。その他にも、シックスセンス スパ ジギーベイにプラスチックフリーのスリッパを導入し、敷地内でリサイクルできるようにしたウェルネスディレクターのアヌパム・バネルジーもプラスチックフリーの立役者です。

ジェフ・スミスは、「私たちのモットーは、常に学ぶことです。原油の採掘からはじまり、輸送、化学物質の漏洩、炭素や気候への影響に至るまで、プラスチックのライフサイクル全体を学ぶことが、試行錯誤を重ねたソリューションにつながりました。これらのソリューションをブランド内だけでなく、産業全体で共有したいと考えています。お互いに協力することで、さらに前進していきたいと考えています。」と、付け加えています。

Six Senses Journey to Plastic Freedom Playbook は、シックスセンスのサステナビリティリーダーたちが「Green Case」の CEO、レイチェル・マカフェリー、「Sea Going Green」の CEO、アリー・ドラゴゼット、「Ready to Bloom」の創設者、フィル・ブルームフィールド、「Travel Without Plastic」の創設者、ジョー・ヘンドリックスなど、サステナブルツーリズムのキーパーソンと協力し、執筆・編集しました。

レイチェル・マカフェリーは、「私たちが使っているプラスチックの量と代替品にかかる費用に圧倒されるかもしれませんが、しかし、プラスチックが野生生物や私たち人間の健康に及ぼしている長期的なコストと比較した場合、本当にできない変化なのではないでしょうか？私は、シックスセンスのゲストとスタッフが、プラスチックフリーの取り組みに積極的に参加していることに勇気づけられました。当初は疑問視されていたソリューションも、歯磨き粉のタブレットのように、すぐにゲストのお気に入りになりました。」と、コメントしています。

プラスチックフリーの輪を広げる取り組み

シックスセンスでは、リサイクルではなく、代替によるプラスチックの不使用に重点を置いています。プラスチックによる汚染は、生産、抽出、使用、廃棄の過程で発生します。たとえプラスチックがリサイクルされたとしても、環境汚染は既に発生しています。また、プラスチック製品を使用しないためには、サプライヤーが重要なステークホルダーであることを当初より認識していました。そのため、すべての購買部門とサプライヤーに対し、プラスチックフリーを目指すブランドのビジョンに賛同し、プラスチック排除の誓約を共有してくれるよう呼びかけました。サプライヤーたちは代替品の導入に前向きで、実践可能なソリューションの開発に協力してくれました。環境への影響を



懸念しているのはサプライヤーたちも同じであることが分かったことは、プラスチックフリーの輪を広げるこの度の動きにつながりました。

2024年11月6日(水)に開催されるオンラインセミナー「Six Senses Plastic Freedom Webinar」にぜひ参加ください。参加申し込みは[こちら](#)をクリックしてください。セミナー後にプレイブックをダウンロードしていただけます。

NOTES TO EDITORS

- シックスセンスは、20年前に初めてガラス製のウォーターボトルに切り替えました。[このビデオ](#)は、シックスセンスのガラスボトルの1日を描いています。ビデオに登場するガラスボトルは、毎日利用される多くのボトルのうちの1本に過ぎず、1本のボトルの長い人生のうちの1日に過ぎません。
- シックスセンスは、ラグジュアリーを構成する主要な要素としてサステナビリティとウェルネスを定義することにより、ホスピタリティ産業において新しいニッチ市場を創出してきました。ブランドの姿勢は徹底しており、2019年には、国連環境計画 (UNEP) と国連世界観光機関 (UNWTO) が主導する「Global Tourism Plastics Initiative (世界の観光とプラスチック廃棄物の削減に向けた取組)」に参画する最初の企業の1社として署名を行い、2021年にはプラスチックフリーの取り組みの輪を広げるために「United States Coalition on Sustainability (米国サステナビリティ連合)」と「SustainChain™ (サステイン・チェーン™)」のパートナーになりました。
- サステナビリティへの取り組みは、プラスチックの枠を超えています。2023年、サステナビリティに特化したシックスセンスのファンド「Six Senses Sustainability Fund」を通じて、パートナーシップを締結した57団体が推進する60のプロジェクトに資金を提供しました。その結果、25,412人の地域住民が医療を受けられるようになり、9,254人が改善された公共の廃棄物処理システムを利用できるようになりました。プロジェクト例は、以下のとおりです。
 - シックスセンス フィジー
シックスセンス フィジーは、絶滅危惧種のタテガミフィジーイグアナ (学名: *Brachylophus vitiensis*) の保護に取り組んでいます。2023年の個体数調査では、2022年の調査と比較して29匹の増加が確認され、リポートが保護するイグアナの総数は40匹になりました。イグアナの保護に対する意識向上を目的としたイベントには、466人という大勢の参加者にご参加いただきました。イグアナの生息地を増やすために、対象となる樹種の植林活動も実施しています。
 - シックスセンス ヤオノイ タイ
シックスセンス ヤオノイ タイは、地域コミュニティの支援に取り組んでいます。新しい浄水場の設置により、2023年には23,820人がきれいな飲料水を利用できるようになりました。これまで、飲料水用にペットボトルの水を購入しなければいけませんでした。また、地元の病院に新しい設備と備品を提供しました。その結果、13,800人の医療サービスへのアクセスも改善されました。
 - シックスセンス ニンバンベイ ベトナム
シックスセンス ニンバンベイ ベトナムは、絶滅危惧種のクロアシドゥクラングール (オナガザル科のサル、学名: *Pygathix nigripes*) の保護に取り組んでいます。2023年の個体数調査では、2022年の調査と比較して13匹の増加が確認され、総数170匹になりました。また、生物多様性に関する調査では、クロアシドゥクラングールの他にも複数の絶滅危惧種が生息していることが報告されました。森から野生動物を捕まえる罠を撤去するプログラムも実施しています。
 - シックスセンス クラベイアイランド カンボジア
シックスセンス クラベイアイランド カンボジアは、地域開発に取り組んでいます。地元のNGO「All Kids」と提携し、中心地から離れたリモート地域におけるコミュニティサービスの向上を図りました。2023年には1,950人の地域住民が公共の廃棄物処理サービスを利用できるようになったほか、地元の学校に設置された新しいシステムにより、1,926人の児童がきれいな飲料水を利用できるようになりました。
 - シックスセンス ラーム モルディブ
シックスセンス ラーム モルディブは、海洋保護に取り組んでいます。パートナーのNGOと共同でデータを収集し、政府に提出するという複数年にわたる努力を経て、新たな海洋保護区が設定されつつあります。2023年には8.2 km²のエリアがコミュニティ保護区に、8.4 km²のエリアがサメ&エイの重点保護区に指定されました。これら



の保護区とその周辺の生態系は、国際的な非営利団体「ミッション・ブルー」によって「ホープ・スポット」の1つに指定されています。

シックスセンスズについて：

IHG ホテルズ&リゾーツファミリーの一員であるシックスセンスズは、現在 27 軒のリゾートとホテルを運営しています。このほか、40 軒の開発プロジェクトも進行中です。1995 年の創業以来、地域コミュニティとの共生、サステナビリティ、エモーショナル・ホスピタリティ、ウェルネス、独創性にあふれた特別な体験に対する徹底したコミットメントで、世界をリードしています。極上の離島リゾート、山岳リトリート、アーバンホテルなど、いずれのプロパティにおいても、旅の真の目的を感じることができ、ゲスト自身や周囲の人々、ゲストを取り巻く世界とのつながりを深めることができるよう、感覚を呼び覚ますことをビジョンとしています。シックスセンスズ レジデンスは、オーナーの個性が反映された快適なプライベートヴィラやアパートメントで、シックスセンスズならではのリゾートライフを提供します。シックスセンスズ スパは、全てのシックスセンスズのリゾートとホテルに併設されているほか、独立型のスパも展開しています。感性と感覚を大切にしたローテクな要素とハイテクな技術の両方を兼ね備え、ホリスティックウェルネス、統合医療、健康長寿のためのメニューをご用意しています。*2024年6月末現在

IHG ホテルズ&リゾーツ / IHG・ANA・ホテルズグループジャパンについて：

IHG ホテルズ&リゾーツ [LON:IHG, NYSE:IHG (ADRs)]は、True Hospitality for Good を提供するグローバルホスピタリティカンパニーです。下記の 19 ホテルブランドを展開し、世界 100 ヶ国以上に 6,300 軒超のホテルを有し、約 2,000 軒のホテルを開発中です。また、IHG ワンリワーズは、世界最大級のロイヤリティプログラムで、様々な特典をお楽しみいただいています。

- ・ **ラグジュアリー&ライフスタイル:** [シックスセンスズ ホテルズ リゾーツ スパ](#), [リージェント ホテルズ&リゾーツ](#), [インターコンチネンタルホテルズ&リゾーツ](#), [ヴィニエットコレクション](#), [キンプトン ホテルズ&レストランズ](#), [ホテルインディゴ](#)
- ・ **プレミアム:** [voco](#), [HUALUXE ホテルズ&リゾーツ](#), [クラウンプラザ ホテルズ&リゾーツ](#), [EVEN ホテルズ](#)
- ・ **エッセンシャルズ:** [ホリデイ・イン ホテルズ&リゾーツ](#), [ホリデイ・イン エクスプレス](#), [ガーナー](#), [avid ホテルズ](#)
- ・ **スイーツ:** [Atwell スイーツ](#), [ステイブリッジ スイーツ](#), [ホリデイ・イン クラブバケーションズ](#), [キャンドルウッド スイーツ](#)
- ・ **エクスクルーシブパートナーズ:** [イベロスター ビーチフロントリゾート](#)

InterContinental Hotels Group PLC は、グループの持株会社で、英国に設立、英国およびウェールズで登録されています。世界中の IHG のホテルとコーポレートオフィスには、約 375,000 人の従業員がおり、日々世界中のお客様をお迎えしています。*2024年6月30日現在

日本国内では、2006年12月にANAとのジョイントベンチャー会社である IHG・ANA・ホテルズグループジャパンを設立し、ANAとの共同ブランドを含む8ブランド(インターコンチネンタル、シックスセンスズ、キンプトン、クラウンプラザ、ホリデイ・インおよびホリデイ・インリゾート、ホリデイ・インエクスプレス、ホテルインディゴ、voco)、47ホテル、約14,000室を展開しています。今後は大阪市内の3つのガーナーホテル(2024年)、ホテルインディゴ長崎グラバーストリート(2024年)、ANAホリデイ・インリゾート軽井沢(2025年)、ホリデイ・イン京都五条(2025年)、インターコンチネンタル札幌(2025年)、高知、知立、浜松に3軒のANAクラウンプラザホテル(2026年)、リージェント京都(2027年)、voco広島(2027年)などの15ホテルの開業を予定しています。また2025年には、日本初の「ヴィニエットコレクション」ブランドを冠するリーガロイヤルホテル大阪ヴィニエットコレクションが誕生します(現在ブランド移行中)。IHGホテルズ&リゾーツは日本においても拡大を続け、さらなる旅の選択肢をお届けしてまいります。*2024年8月31日現在